

2026年(令和8年)1月 第015号

旅立ち

大切な第一歩と共に



新しい年が清々しく明けました。

昨年一年は、天候不順や多くの地震等々災害が続き、

世界各地では戦いごとが起きています。

今年こそは毎日が有意義な日々と成ることを願っています。

大切な新年の第一歩を勇気を持って、明るく歩み始めましょう。

2026年1月吉日

代表理事 黒澤 厚

地域復興支援事業

【第10回菓子セミナー実施】

2025年1月に続き、福島県伊達市にて第10回となるお菓子セミナーを開催しました。本セミナーには37名の参加者にお集まりいただき、今回は伊達市大枝地区の酒井ぶどう園のぶどうを使用したお菓子づくりをテーマに実施しました。各回の冒頭では、ぶどう農家・酒井様より、生育状況や品種特性についての解説があり、貴重な学びの機会となりました。

今回のセミナーでは、日本菓子専門学校の及川先生を講師にお招きし、シャインマスカットとピオーネを使った①生菓子「エメロード」と、②焼菓子「アグリーダリコッタのタルティーヌ」の2品を製造しました。講師の及川先生からは、粒の大きさと味わいに対する驚きと感動の声があがり、「エメロード」にはホワイトバルサミコ酢を取り入れたパンナコッタを採用しました。また、酸味のある調味料「アグリーダ」をレモンの代替として活用し、料理への応用可能性についても言及されました。

過去のセミナーに参加されたリピーターや地元の方々にも多くご参加いただき、大変好評を博したお菓子セミナーとなりました。

【参加者様からのコメント】

- ぶどう園の話が良かった。新種を見たら買おうと思う。エメロードの作り方、興味を持って見た。バルサミコ酢の味が効いていた。先生の話も良かった。
- 先生の人柄が素晴らしい楽しいセミナーだった。伊達市で生産された素晴らしいぶどうも感激。これからは手間暇かけて作られた方の愛情を感じながら買おうと思う。
- 初めて食べるものでとても美味しかったパンナコッタのクリーミーさがとても良かった。
- ネット配信では分からないことも、目の前の実演を見ることで香り、音などを知ることが出来た。ホワイトバルサミコ酢は初めてだったが風味が優しくてとても美味しかった。
- 伊達市の特産物を使って色々なデザートができ驚いた。商品化すると売れると思う。
- 菓子の作り方を細かく教えていただきありがとうございました。エメロード、タルティーヌも大変美味しかった。



シャインマスカットとピオーネ



セミナーの様子



ぶどうを使ったお菓子作り
左「エメロード」、右下「アグリーダリコッタのタルティーヌ」



酒井様／及川先生／嶋崎理事

酒井ぶどう園では20種類以上の
ぶどうを栽培し、丁寧に管理しています。
特にピオーネは病気に弱く着色が難しい
ため手間がかかりますが、その分
味わい深い仕上がりに。
人気のシャインマスカットに加え、「マスカットノアール」など新しい品種にも挑戦して
います。
今回製造いただいた2商品
とても美味しいかったです！



ぶどう生産者、酒井様ご家族

奨学生訪問 第5弾

第8期奨学生訪問の様子をご紹介いたします。
今回は宮城の奨学生訪問状況をご報告します。



佐伯 美緒子 様(右)
旭川医科大学医学部医学科

2人の子育てをしながら、獣医師の経験を活かし感染症の研究を進めています。
将来は感染症に強い病院への就職を希望し、研究継続は子供の状況次第で柔軟に検討し、いずれの形であっても感染症にかかわりたいです。
社会人経験がある分、患者様からの信頼や、若手の同期からの相談など、年齢相応の強みが学びの場で生かされています。



五十嵐 望 様(中央)
東北大工学部材料科学総合学科

すべての工業製品にはもととなる材料が存在し、材料が変われば私たちの暮らしはさらに豊かになります。
来年の研究室配属以降を見据えて材料に関する幅広い分野を座学・実験を通して学んでいます。
様々な分野を学ぶことで、入学当初は生体材料に興味がありました。最近は半導体やセラミックス材料にも惹かれています。
自分の専門を決める時期が近づいていますが、社会や暮らしに通ずる研究を1つの指標に熟慮したいと考えています。将来的には修士・博士へ進み、材料の力で未来を拓くつもりです。
私たちの身近に寄り添い、向き合って、応援していただける財団の皆さんのが励みになっています。



高瀬 大河 様(中央)

東北大学大学院理学研究科地学専攻

小惑星研究と並行して、子供向けのイベントや海外への情報発信などアウトリーチ活動を継続しています。国際研究会では学生の活動を紹介する機会もあり、支援に大変感謝しています。

研究を行う上では、予期せぬ発見もあり、はやぶさ2が持ち帰った小惑星の砂を分析する中で、小惑星の進化過程に迫る重要な発見もありました。



有馬 明香 様(中央左)

東北大学大学院歯学部歯学研究科博士後期課程

金高 弘恭 様(中央右) [教授]

口唇口蓋裂など先天異常をもつ患者さんの矯正治療に携わる中で、骨に埋め込む小型固定装置「オンプラント」の研究開発を行っています。

臨床現場で得られた課題を研究に反映させることで、治療の選択肢を広げることを目指しています。

「広場」奨学生／指導教諭／OB／OG 近況報告

【第15回】

2021年3月に日本赤十字北海道看護大学を卒業し、医療現場で活躍する第1期奨学生の高原香織さんからメッセージをいただきました。

看護師として働き始めてまもなく5年になります。就職時は感染症病棟配属で、コロナ禍患者対応を行っていましたが、去年の4月からは小児科、内分泌代謝科、乳腺科、整形外科などの混合病棟に配属され、手術後の管理なども行っています。

人が辛いときに少しでも寄り添ったり、力になりたいと看護師になることが長年の夢でした。覚悟はしていましたが、母子家庭での子育てをしながらの勉学は想像以上で、アルバイトの時間まで取ることが大変でした。クロサワ財団のお力添えにより、時間を使えることができ、無事に看護師免許取得までたどりつけました。奨学金だけでなく、黒澤様には、現在小学6年生となった子どもと文通していただき、おかげさまで健やかに育ってくれているように思います。たくさんの人のお力添えにより今の自分があるため、感謝しながら安心してもらえる看護師として社会に貢献していきたいと思っています。



コラム

【第5回】 クロサワ育成財団 選考委員 山内 信俊 様

今年の7月山形県酒田市に東北公益文科大学在学中のクロサワ財団の奨学生を訪ねました。

酒田市は、歴史的に見れば、江戸時代から北前船、荘内米で大変栄えた町ですが、面会した奨学生の方から酒田の豪商、本間家が酒田の発展そして公益に多大の貢献をしたと教えてもらいました。面会の翌日市内の本間美術館を見学し、本間家の歴史を少し勉強させてもらいました。

酒田は、日本海からの強い季節風による砂塵に長らく悩まされていたところ、本間家三代当主の光丘が私財をなげうって黒松による砂防林を作り上げ、さらに米を備蓄して、飢饉に備えたことなどを知りました。

前述の東北公益文科大学もこのような酒田の公益貢献の伝統を引き継いでいるのだと、とても納得した訪問でした。



財団からのお知らせ

第9期奨学生募集の書類応募は2025年9月30日をもって締め切らせていただきました。120名の学生の皆様にご応募いただき、誠にありがとうございました。11月17日に仙台市にて二次面接を一次通過者の24名で実施し、結果10名が合格いたしました。

合格者等の詳細は、今後広報誌でご紹介させていただきます。

公益財団法人 クロサワ育成財団 事務局／丹治・嶋崎

〒104-0061 東京都中央区銀座6-9-2 クロサワビル11階

TEL: 03-6281-5140 FAX: 03-6281-4315 URL: <https://www.kuroswfound.or.jp/>

月曜～金曜 午前10時～午後5時 ※年末・年始、祝日、当財団休日を除く

